北海道プラス PLUS
〒060-0004 札幌市中央区北四条西6丁目1　毎日会館【☎】011（251）1755
【FAX】011（251）7346 広告のお申し込み、お問い合わせは【☎】011（251）1746

〝おもてなし〟光る低価格マンション

日動グループ 前川大輔社長

通算23人目の若きリーダーは日動グループを率いる前川大輔社長（40）。販売するマンションは10日で1棟が完売するなど、札幌でも屈指の人気と信頼を誇る。ただ、社長就任直後は失敗と挫折の連続。苦しかった過去、乗り越えた今、そして未来へのビジョンを語ってくれた。なお、連載は今回で最終回。ご愛読ありがとうございました。

21世紀のプロンティア　青山千景がリーダー直撃　最終回

挫折乗り越えて札幌で屈指の人気

―社長に就任して10年。順調でしたか。

「いえ。ぼく然と大きなことをしよう、父に負けたくないという意味もない動機で就任した頃は大きな失敗をたくさんしました」

―どんな失敗？

「社の規模に合わない計画を立てて大きな損失を被った時もありました」

―周囲の反応も厳しくなりますよね。

「社員も次々にやめていき、どん底まで落ちたと思います。創業者の父は苦しむ私を見かねたのか〝もう会社を売れば〟とも言っていました」

―愛の言葉でしょうか。

「変われよってことだったかもしれません。今でもあの時の自分はひどかったと思います。お客さんのことも社員のことも見ていませんでした」

―どうやって立て直したのですか。

「就任から2年たって、戦略も社への思いもなかったと猛省しました。社員一人一人と面接し、どんな会社にしたら良いかを聞き、自分の思いも伝えました。弊社初の企業理念をつくるきっかけになったので今になれば良い経験でした」

―その後の事業は？

「おかげさまで好調。JR札幌駅北口に建てたマンションは10日で完売しました」

札幌駅前に建設中のマンションの完成予想図を手にツーショットの前川社長と青山

▽日動　本社・札幌市中央区南1条西1の6の4。マンション販売のほか、賃貸、管理、リゾート開発などの事業を手掛ける。グループ内のアンビックスが札幌クラッセホテル、新奈井江カントリークラブなどを経営。

観光客らへ中期滞在の物件開発へ

―人気の理由はなんだと思いますか。

「やはり低価格であること。物件のほとんどが札幌中心部に集中しているのでモデルルームが1カ所で済むメリットが大きい。広告費も極力抑えているので低コストで提供できます」

―価格以外では？

「ホテル業も手掛けているので、マンションでも利便性や住んでからのホスピタリティーを大事にしています。ホテルのようなマンションがコンセプト。どちらも多くの人が集う。その多くの人に喜んでもらうという共通点があります」

―今後、挑戦したいことは？

「賃貸事業とホテルの中間として中期滞在できる物件を手掛けていきたい。札幌競馬開催中、騎手はマンスリーマンションを使っていますが、報道関係者は半月ほど泊まれるところを探しても見つからず、高くつくホテルを利用します。コンドミニアムのような出張や観光客に貸せるマンションを考えています」

―外国からの旅行客も利用できそうですね。

「そのような施設は札幌に全くありませんからね。ホテル不足解消やインバウンド対策にもつながる。また、事業を通じて道外から住まいと観光を運ぶことによって大好きな北海道に貢献していきたいと思っています」

座右の銘は造語の「創客創笑」

〈前川 大輔（まえかわ・だいすけ）1976年（昭51）12月9日、札幌市生まれの40歳。血液型B。座右の銘の「創客創笑」は社長の造語で「常にお客さまのために創造し、お客さまの笑顔を創りだしていこう」という意味。

〈青山 千景（あおやま・ちかげ）1986年（昭61）1月17日、札幌市生まれの30歳。北海学園大卒。中学2年時にCMデビュー。07年度ミスさっぽろで、TVh「旅コミ北海道」に出演中。